

【資料 2-1】

令和 8 年熊本地震の概要

令和 8 年熊本地震と過去の地震（最大震度 7）との被害比較

			令和 8 年熊本地震	令和 6 年 能登半島地震	北海道 胆振東部地震	平成 28 年熊本地震 (本震)	平成 28 年熊本地震 (前震)	東北地方 太平洋沖地震 (東日本大震災)	新潟県 中越地震	兵庫県 南部地震 (阪神・淡路大震災)
発生日時			令和 8 年 7 月 28 日 16 時 27 分	令和 6 年 1 月 1 日 16 時 10 分	平成 30 年 9 月 6 日 3 時 7 分	平成 28 年 4 月 16 日 1 時 25 分頃	平成 28 年 4 月 14 日 21 時 26 分頃	平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分	平成 16 年 10 月 23 日 17 時 56 分頃	平成 7 年 1 月 17 日 5 時 46 分
震源の深さ			16km (暫定値)	16km	37km	12km	11km	24km	13km	16km
マグニチュード			7.1 (暫定値)	7.6	6.7	7.3	6.5	9.0	6.8	7.3
最大震度			7 (熊本県宇城市、氷川町)	7 (石川県輪島市、志賀町)	7 (北海道厚真町)	7 (熊本県益城町、西原村)	7 (熊本県益城町)	7 (宮城県栗原市)	7 (新潟県川口町)	7 (※)
被害 状 況	人的被害 (人)	死者	38	720	43	273		19,787	68	6,434
		重傷	34	427	48	1,203		701	633	10,683
		軽傷	334	980	734	1,606		5,366	4,172	33,109
		程度不明	-	-	-	-		187	-	-
		行方不明	-	2	-	-		2,549	-	3
	住家被害 (棟)	全壊	1,730	6,536	469	8,667		122,204	3,175	104,906
		半壊	3,139	23,707	1,660	34,719		287,896	13,810	144,274
		一部破損	26,929	135,545	13,849	163,500		749,016	105,682	390,506
		程度不明	-	-	-	-		-	-	-
	非住家被害 (棟)	公共建物	-	443	2,490	467		14,527	41,738	1,579
		その他	-	40,852		12,918		93,885		40,917
	火災 (件)		11	17	2	15		330	9	293

※ 神戸市須磨区鷹取・長田区大橋・兵庫区大開・中央区三宮・灘区六甲道・東灘区住吉、芦屋市芦屋駅付近、西宮市夙川等、宝塚市の一部、淡路島北部の北淡町、一宮町、津名町の一部

参考資料	消防庁 (第 62 報) (R8.8.27 10:00)	消防庁 (第 123 報) (R8.3.31 16:00)	消防庁 (第 35 報) (R1.8.20 13:00)	消防庁 (第 121 報) (H31.4.12 18:00)	消防庁 (第 166 報) (R8.3.9 10:00)	消防庁 (確定報) (H21.10.21 10:00)	消防庁 (確定報) (H18.5.19)
------	---------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-------------------------

制度概要

- 余震などによる二次災害の拡大を防止するため、倒壊の危険性や外壁、窓ガラスの落下などの危険性を判定するものである。
- 活動エリアは、全域ではなく、大きな被害が生じ、二次災害を防ぐ必要があるエリアに重点化して行われるのが一般的である。
- 『判定ステッカー』を表示し、居住者はもとより付近を通行する歩行者等に対しても、危険性の情報を提供することとしている。

全体の実施状況(建築物)

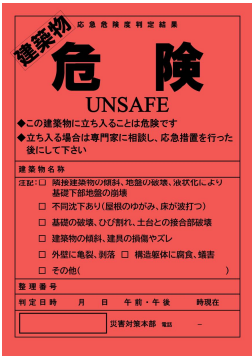
実施期間	実施都道府県	合計	実施状況			対応人数(延べ)
			危険(赤)	要注意(黄)	調査済(緑)	
7/29-8/11	熊本県	9,553件	1,769件	1,668件	6,116件	1,299人・日

【実施市町】(8市町)

熊本市(くまもとし)・八代市(やつしろし)・宇土市(うとし)・宇城市(うきし)
美里町(みさとまち)・嘉島町(かしまち)・氷川町(ひかわちょう)・芦北町(あしきたまち)

※市区町村が被災の状況に応じて定めた判定実施区域内における対象建築物の外観調査を中心として判定を実施

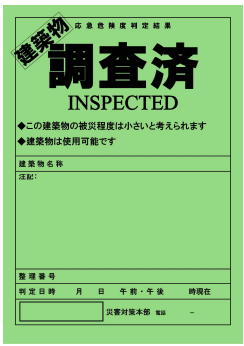
(応急危険度判定ステッカー)



「危険」
この建築物に
立ち入ると
は危険



「要注意」
この建築物に
立ち入るとき
は十分注意



「調査済」
この建築物
の被害程度は
小さい

